

盛岡市中心部を流れる中津川 擬宝珠で有名な上の橋の上流に架かるモダンな橋

岩手山
秋はふもとの三方の
野に満つる蟲を何と聴くらむ
啄木



1981年3月に完成した富士見橋は、青緑色の欄干と、地元産みかげ石を張り付けた橋脚が印象的なモダンな橋です。

「南部富士」の別名を持つ岩手山を臨むことから名付けられました。歩行者、自転車専用で、中ほどの2カ所にベンチを置ける広いスペースがあり、憩いの場としての機能を備えています。

欄干のデザインは、かつてこの近くに石川啄木が「小天地」という同人誌を発行した時代の住居があり、その同人誌の表紙に使われていた「ケシの花」がモチーフとなっています。

親柱の1つは岩手山をイメージし「岩手山／秋はふもとの三方の／野に満つる蟲を何と聴くらむ」の歌の銅板をはめ込んでいます。

下を流れる中津川。冬の間は白鳥も飛来しています。